



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社C&Fロジホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9099 URL <http://www.cflogi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林原 国雄
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 武藤 彰宏 (TEL) 03-5291-8100
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	27,430	2.7	1,128	△7.7	1,194	1.5	789	0.6
2019年3月期第1四半期	26,711	1.4	1,221	6.3	1,176	1.9	784	1.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 520百万円(△45.3%) 2019年3月期第1四半期 950百万円(28.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	31.00	—
2019年3月期第1四半期	30.64	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	80,017	38,305	47.0	1,476.11
2019年3月期	79,653	38,067	46.9	1,466.97

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 37,577百万円 2019年3月期 37,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	55,500	1.6	2,600	2.7	2,600	△2.9	1,800	△0.5	70.60
通期	110,000	2.2	4,500	10.1	4,500	4.6	3,100	11.4	121.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	25,690,766株	2019年3月期	25,690,766株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	233,555株	2019年3月期	233,555株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	25,457,211株	2019年3月期1Q	25,614,457株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復傾向にあるものの個人消費の動きは鈍く、また、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題等、海外の政治・経済情勢の不確実性の高まりもあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが主軸をおく低温食品物流業界におきましては、ライフスタイルの変化などを背景に引続き冷凍・冷蔵食品の需要は堅調に推移しております。しかしながら、車両や庫腹の逼迫等物流設備の不足感が一段と厳しくなる中、顧客ニーズへの対応に向けたコストの見直し及び労務コンプライアンスへの対応を含めた労務費の増加、さらには燃油費等の高止まりなど「食の安心と安全」を担保する高品質な物流サービスを提供するためのコスト増により、当社を取り巻く環境はより一層厳しくなっております。

このような環境の中、当社グループは2019年4月より第二次中期経営計画（2020年3月期から2022年3月期まで）をスタートいたしました。「新たなインフラ整備と営業開発の推進」を基本方針とし、積極的な設備投資によりDC事業、TC事業それぞれに新たな拠点開発を進め、それらを100%活用できる営業開発を推進し、各々の得意分野を一体化した顧客サービスを提供することにより、物流品質の更なる向上と業容の拡大を進めてまいります。初年度となる2020年3月期は、大型設備投資による固定費の負担増加が想定されるなか、持続的成長を実現するため、コスト構造の見直し、適正な料金収受の推進、働きやすい職場環境づくり等に取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益は27,430百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益は1,128百万円(前年同期比7.7%減)、経常利益は1,194百万円(前年同期比1.5%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、789百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①TC事業（通過型センター事業）

一部業務の撤退(2019年3月)の影響があったものの、コンビニエンスストア事業が堅調であったことなどにより営業収益は18,210百万円(前年同期比1.1%増)となりました。

セグメント利益につきましては、内製化による外注費の削減はあったものの、労働力確保による労務コストの増加等により1,192百万円(前年同期比8.7%減)となりました。

②DC事業（保管在庫型物流事業）

既存店所における共同配送等の取扱物量の増加等により、営業収益は8,746百万円(前年同期比6.4%増)となりました。

セグメント利益につきましては、労務費の増加はあったものの、グループ内の既存施設の相互利用及び倉庫荷役の適切な管理等により972百万円(前年同期比12.8%増)となりました。

③その他

警備輸送業・病院等関連物流業・人材派遣業・保険代理店業等により営業収益は473百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は73百万円(前年同期比27.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産につきましては、前連結会計年度末に比べ363百万円増加し、80,017百万円となりました。

主な増加は「営業未収金」723百万円であり、主な減少は「現金及び預金」509百万円、「投資有価証券」326百万円によるものであります。

(負債)

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ125百万円増加し、41,711百万円となりました。

主な増加は「1年内返済予定の長期借入金」281百万円、「長期借入金」1,134百万円、「退職給付に係る負債」180百万円であり、主な減少は「短期借入金」800百万円、「未払法人税等」745百万円、「賞与引当金」796百万円によるものであります。

(純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ238百万円増加し、38,305百万円となりました。

主な増加は「利益剰余金」509百万円であり、主な減少は「その他有価証券評価差額金」249百万円によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は47.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね想定した範囲で推移しているため、2019年5月8日に公表いたしました連結業績予想数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,897	5,387
営業未収金	11,725	12,448
原材料及び貯蔵品	283	285
その他	1,258	2,002
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	19,158	20,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,391	19,207
機械装置及び運搬具（純額）	4,428	4,503
土地	17,333	17,406
リース資産（純額）	8,800	8,676
建設仮勘定	364	330
その他（純額）	126	153
有形固定資産合計	50,445	50,277
無形固定資産		
	701	683
投資その他の資産		
投資有価証券	4,175	3,849
長期貸付金	101	100
繰延税金資産	2,616	2,467
その他	2,469	2,535
貸倒引当金	△14	△15
投資その他の資産合計	9,348	8,937
固定資産合計	60,495	59,898
資産合計	79,653	80,017

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	4,212	4,134
短期借入金	2,600	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,655	1,936
リース債務	1,833	1,824
未払法人税等	911	166
賞与引当金	1,717	921
役員賞与引当金	79	17
設備関係支払手形	140	89
その他	5,016	6,206
流動負債合計	18,168	17,096
固定負債		
長期借入金	6,388	7,522
リース債務	7,586	7,453
繰延税金負債	245	243
再評価に係る繰延税金負債	404	404
退職給付に係る負債	6,578	6,758
資産除去債務	1,787	1,792
その他	427	439
固定負債合計	23,418	24,615
負債合計	41,586	41,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000	4,000
資本剰余金	5,715	5,715
利益剰余金	27,531	28,040
自己株式	△288	△288
株主資本合計	36,957	37,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	863	613
土地再評価差額金	△267	△267
為替換算調整勘定	△46	△46
退職給付に係る調整累計額	△162	△189
その他の包括利益累計額合計	386	110
非支配株主持分	722	728
純資産合計	38,067	38,305
負債純資産合計	79,653	80,017

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
営業収益	26,711	27,430
営業原価	24,490	25,235
営業総利益	2,221	2,195
販売費及び一般管理費	999	1,067
営業利益	1,221	1,128
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	34	33
受取賃貸料	26	23
持分法による投資利益	14	17
その他	57	55
営業外収益合計	137	131
営業外費用		
支払利息	66	59
為替差損	99	—
その他	17	5
営業外費用合計	183	65
経常利益	1,176	1,194
特別利益		
固定資産売却益	34	11
特別利益合計	34	11
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
特別損失合計	0	2
税金等調整前四半期純利益	1,210	1,203
法人税、住民税及び事業税	123	149
法人税等調整額	333	256
法人税等合計	457	406
四半期純利益	753	796
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△31	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	784	789

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	753	796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	211	△244
為替換算調整勘定	△27	0
退職給付に係る調整額	9	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△5
その他の包括利益合計	197	△276
四半期包括利益	950	520
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	982	512
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	7

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	TC事業	DC事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	18,010	8,222	26,232	479	26,711
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	120	35	155	190	346
計	18,130	8,257	26,387	670	27,058
セグメント利益	1,305	861	2,167	100	2,268

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備輸送業・病院等関連物流業・人材派遣業・保険代理店業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,167
「その他」の区分の利益	100
セグメント間取引消去	△47
全社費用(注)	△999
四半期連結損益計算書の営業利益	1,221

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	TC事業	DC事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する 営業収益	18,210	8,746	26,957	473	27,430
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	112	29	141	197	339
計	18,322	8,776	27,098	671	27,770
セグメント利益	1,192	972	2,164	73	2,238

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備輸送業・病院等関連物流業・人材派遣業・保険代理店業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,164
「その他」の区分の利益	73
セグメント間取引消去	△42
全社費用(注)	△1,067
四半期連結損益計算書の営業利益	1,128

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。